



監督・プロデューサー：佐々木 寿生（「ハーブ&ドロン」）
 助成：（ロコ）文化庁文化芸術振興費補助金
 2017年/日本/USA/95分
 okujirasama.com

小さな町に押し寄せた、クジラを巡る大きな衝突

県大 SDGs シネマ



#05 - Feb. 2019

おクジラさま ふたつの正義の物語

日時: 2月19日 (火)
 18:00 ▶ 20:00

📞 お問い合わせ先
 TEL: 0749-28-9851
 FAX: 0749-28-0220
 地域共生センター (谷口)

場所: 滋賀県立大学
 交流センター ホワイエ
 (内側の地図をご参照ください)

参加費: 無料 《一般の方もご参加いただけます》

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて 世界が共通した 「持続可能な開発目標」です

■ 上映作品の紹介

『おクジラさま ふたつの正義の物語』

2010年9月、過激な抗議活動で知られるシーシェパードのメンバーが、黒いドクロマーク付きのTシャツを来て太地町にやってきた。彼らは、メディアをうまく使って世界で最も成功している環境NGOの一つ。南氷洋で日本の調査捕鯨船に体当たりしては新聞やテレビを賑わせ、彼らの「英雄行為」に対して数億円単位で寄付金が集まる。

太地町では12隻の船でイルカや小型クジラを湾に追い込み捕獲する。活動家はその様子をビデオや写真におさめ、ネットで配信。すると非難のメッセージが町役場や漁業協同組合に殺到し、欧米の活動家が抗議に駆けつける。国内外の報道陣が集まり、地元の政治団体が街宣車のスピーカーから片言の英語で活動家たちに脅しをかける。この状況を打開できないかと、太地町代表者と外国人活動家の対話集会在町の公民館で開かれるも、お互いの意見は決して交わらないことを確認するだけだった。

2014年秋、太地町の状況はさらに悪化していた。追い込み漁の季節になると、大勢の活動家が大型バスで乗り付ける。地元では警察、海上保安庁、時には機動隊まで出動して警戒体制が敷かれる。今や TAIJIの名は、「イルカ殺しの町」として世界の隅々まで知れ渡り、ソーシャルメディアなどを通じてネット上で罵詈雑言が拡散している。

絶望的にみえるこの状況の中で、一人のアメリカ人ジャーナリスト、ジェイ・アラバスターと出会う。彼は太地町に住み込み、公平な立場で町や人々を理解しようと奔走するが・・・

マスメディアが報じてきた二項対立 一捕鯨を守りたい日本人とそれを許さない外国人 一 という単純な図式ではなく、賛否にとらわれない多種多様な意見をカメラは捉えていく。歴史・宗教・イデオロギーの違いや、自分と相容れない意見や価値観を持つ他者との共存は果たして可能なのか？ 太地町で起きていることは、今まさに世界が直面しているグローバリズムとローカリズムの対立、そしてダイバーシティ（多様性）の危機と重なる。

インターネットとソーシャルメディアを通じて、一瞬にして情報が拡散す時代に、私達はどうか世界と対話して行くべきなのか。

原題：A WHOLE OF A TALE 製作年：2017年 製作国：日本・アメリカ
製作：FINE LINE MEDIA JAPAN
配給：エレファントハウス 時間：96分
監督：佐々木芽生 プロデューサー：佐々木芽生 音楽：デビット・マズリン
撮影：笠原 貴/杉岡 太樹 編集：バーナディン・コーリッシュ
キャスト：ジェイ・アラバスター 三軒一高 リック・オバリー スコット・ウエスト

(ユナイテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？ 私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

交流センター ホワイエ (下図★)

🚗 お車でお越しの方
北駐車場をご利用ください。

🚌 バスをご利用の方
(行き)
南彦根駅西口 17:16発 →
県立大学 17:31着
(帰り)
県立大学 20:07発 →
南彦根駅西口 20:20着

